

館長挨拶 ー国立国会図書館の職員を志望する皆様へー	2
国立国会図書館職員の概要	3
部局紹介	
調査及び立法考査局	5
収集書誌部	7
利用者サービス部	9
電子情報部	11
関西館	13
国際子ども図書館	15
総務部	17
海外との交流	18
管理職からのメッセージ	19
若手職員の声	21
採用情報	22

## 国立国会図書館へのアクセス



## 東京本館

東京都千代田区永田町 1-10-1

- 東京メトロ  
有楽町線「永田町」駅 2 番出口 (徒歩約 5 分)  
半蔵門線・南北線「永田町」駅 3 番出口 (徒歩約 8 分)  
千代田線・丸ノ内線「国会議事堂前」駅 1 番出口 (徒歩約 12 分)



## 関西館

京都府相楽郡精華町精華台 8-1-3

- JR 学研都市線「祝園」駅・近鉄京都線「新祝園」駅から奈良交通バス「国立国会図書館」停留所 (所要時間/約 13 分)
- 近鉄けいはんな線「学研奈良登美ヶ丘」駅から奈良交通バス「国立国会図書館」停留所 (所要時間/約 15 分)



## 国際子ども図書館

東京都台東区上野公園 12-49

- JR「上野」駅公園口 (徒歩約 10 分)
- 東京メトロ日比谷線・銀座線「上野」駅 7 番出口 (徒歩約 15 分)

近年、激動する世界情勢を背景に、エネルギー問題、食料問題、物価の高騰など、人々の暮らしに影響を及ぼす課題が次々と浮き彫りとなっています。国内外では、課題解決の道筋を探るべく様々な意見が交わされていますが、多くの課題に直面する時にこそ、議論や判断に求められるのは、蓄積された信頼できる知識・情報ではないでしょうか。

国立国会図書館は、昭和 23 (1948) 年の設立以来、国会活動の補佐とともに資料の収集、保存、提供等を通じて、国会、国民の知的活動を支える役割を担ってきました。令和 3 (2021) 年には、情報通信技術の発展に伴う社会活動の変化等に対応すべく、「国立国会図書館のデジタルシフト」と題するビジョンを策定し、所蔵資料のデジタル化をはじめとした国のデジタル情報基盤の構築を進めています。また、このビジョンの下、広範な情報資源を駆使した様々なサービスを提供しており、例えば、国会サービスにおいては、国立国会図書館で利用可能な情報資源を最大限活用して、国政課題や諸外国の制度等に関する調査研究の充実化を図り、迅速かつ的確な情報提供を行っています。

「デジタル化は手段であって目的ではない」という意見をよく耳にします。この意見には、デジタル化の先にある新たな価値の創造に目を向けることの重要性が示唆されているように感じます。国立国会図書館の役割に即して考えるならば、デジタル情報基盤の構築に止まらず、その基盤を足掛かりに、国会、国民の知的活動を支えるために何ができるかを見極め、国立国会図書館のサービスとして具現化していくことが求められているのだと思います。

激動する社会に対応しつつ、利用者のニーズに的確に応え、そして、可能性に満ちた未来の創出に貢献するためには、従来の発想や枠組みにとらわれず、様々な課題に臆することなく前向きに取り組む職員の力が必要です。国立国会図書館は、多様なバックグラウンドを持つ職員が、周囲と切磋琢磨しスキルを向上させながら、楽しく働き続けられる場所であると思います。皆様と共に仕事ができることを楽しみにしています。



国立国会図書館長

吉永元信